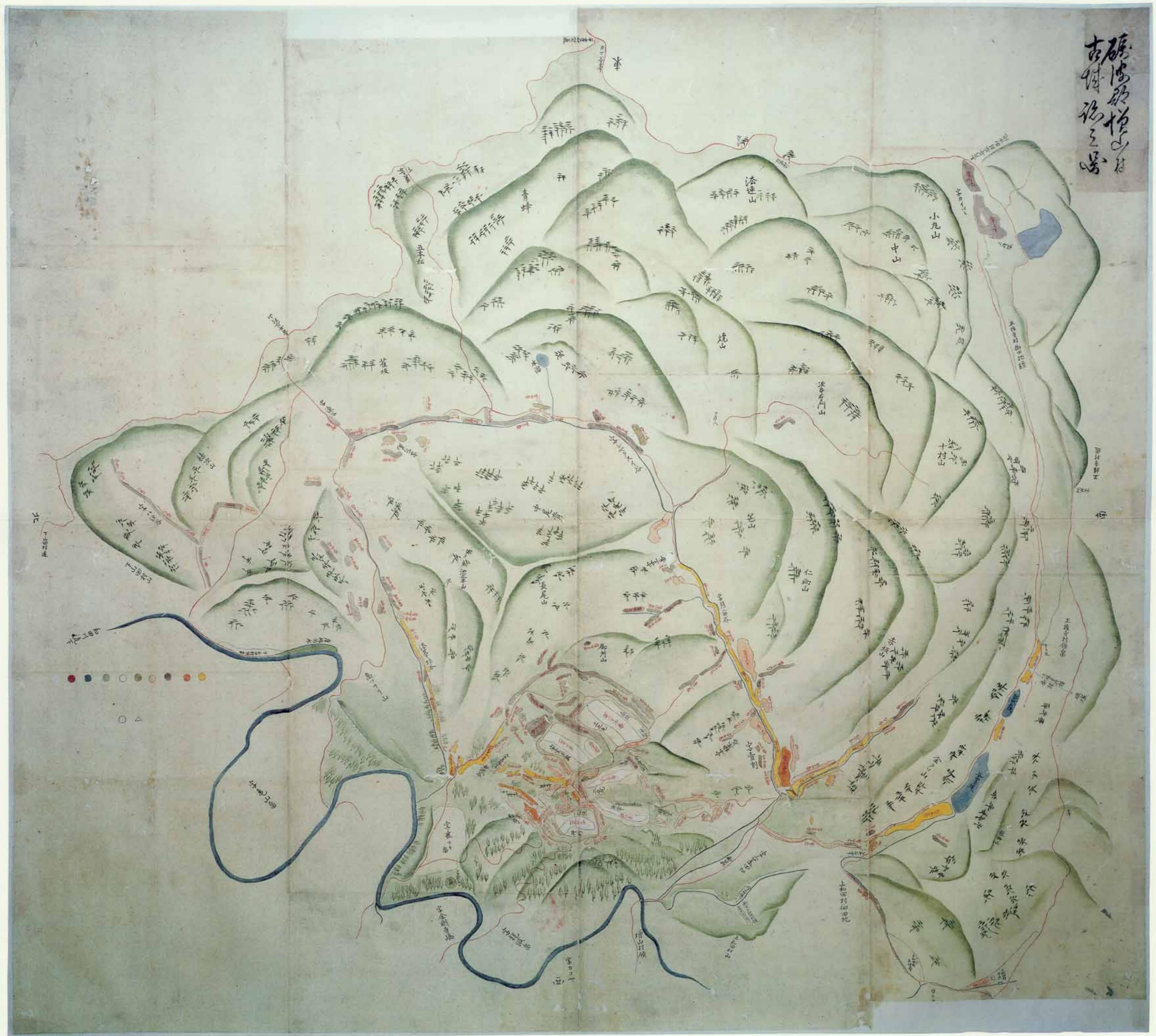




付図1 増山城郭群全域縦張図
◎は櫓台または櫓台とみられる遺構



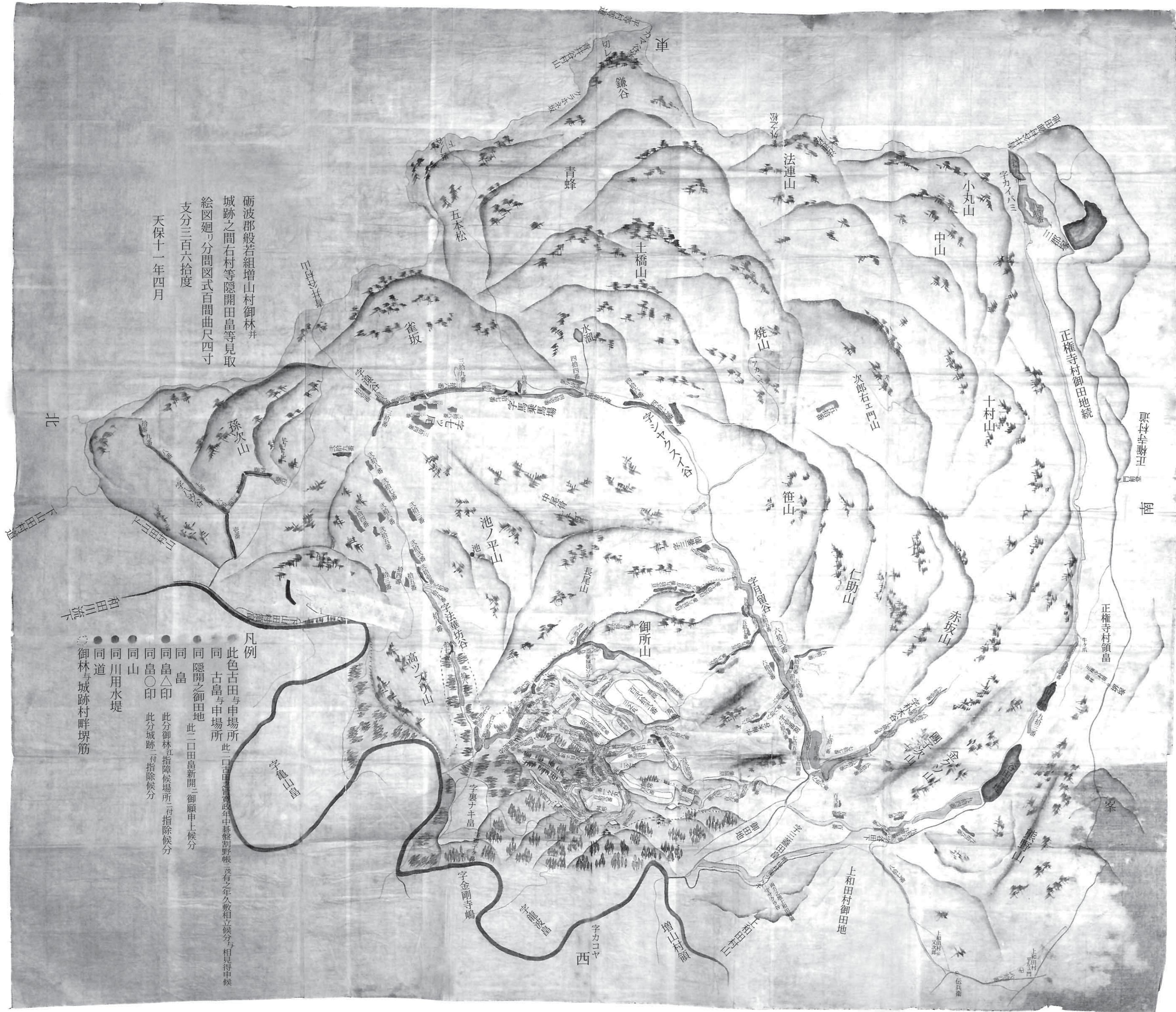
砺波郡増山村古跡圖



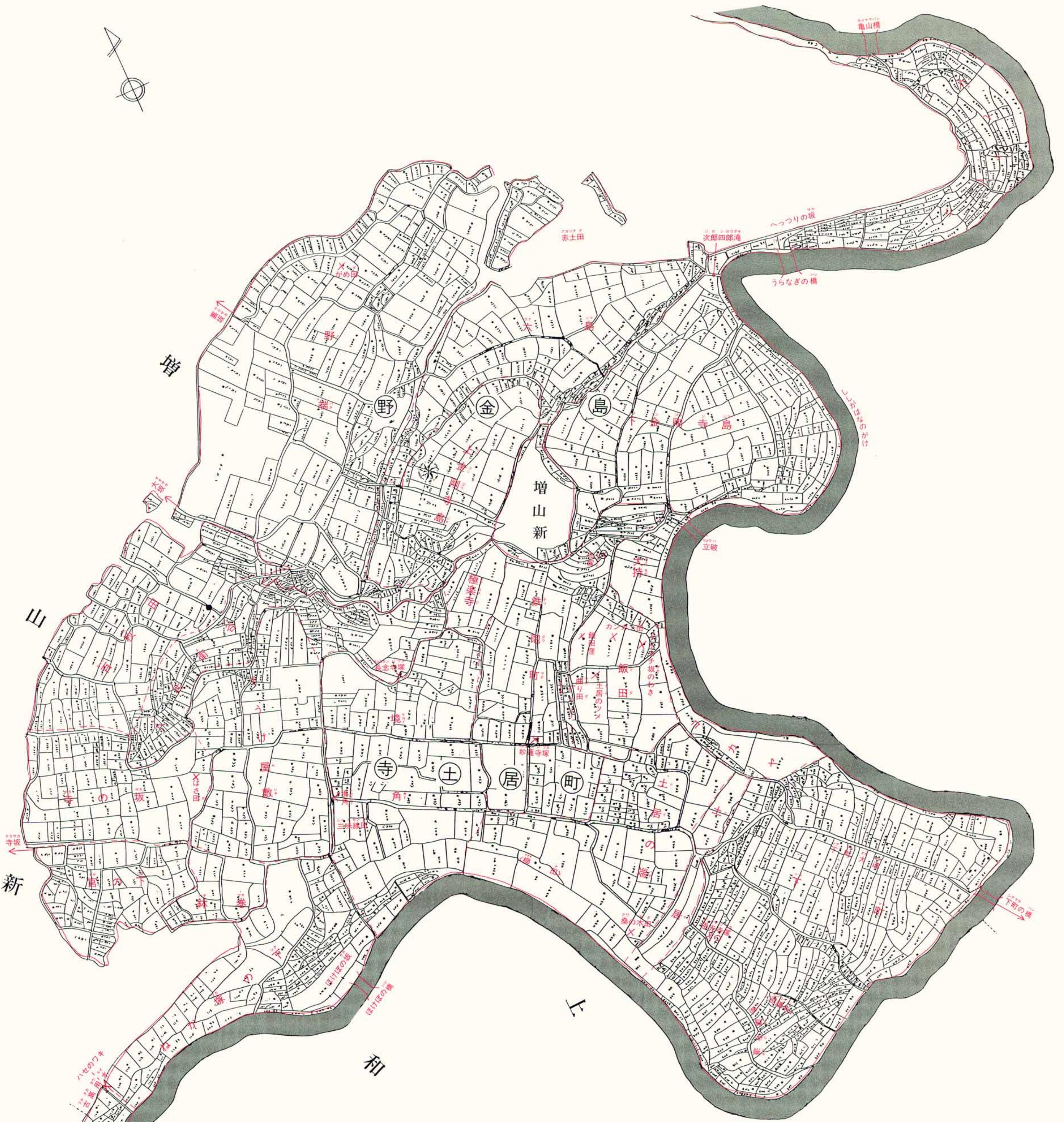
付図3

「砺波郡増山村古跡圖」

南砺市 菊池孝則氏蔵 (年代不詳)
89×102 cm



付図4 天保十一年四月 「般若組増山村御林并に城跡の隠開田畠等見取絵図」 杉野家文書



付図5 増山の小地名〈城下町〉

八 例

- 小字界
○○○ 小字名
- - - - 小地名の範囲(面)
() 小地名の中の地名
× 小地名(点)

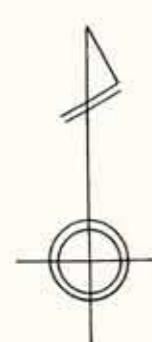
注
1) この地図の範囲は旧増山村の字寺土居町と字野金島である。和田川左岸、増山城

- 2) 田の区画はほ場整備前、また増山ダム湛水前のもので、下図は砺波市役所蔵（郷土資料館保管）の公図に拠った。

い、その結果を地図化した。

凡例

—— 大字界
····· 小字界



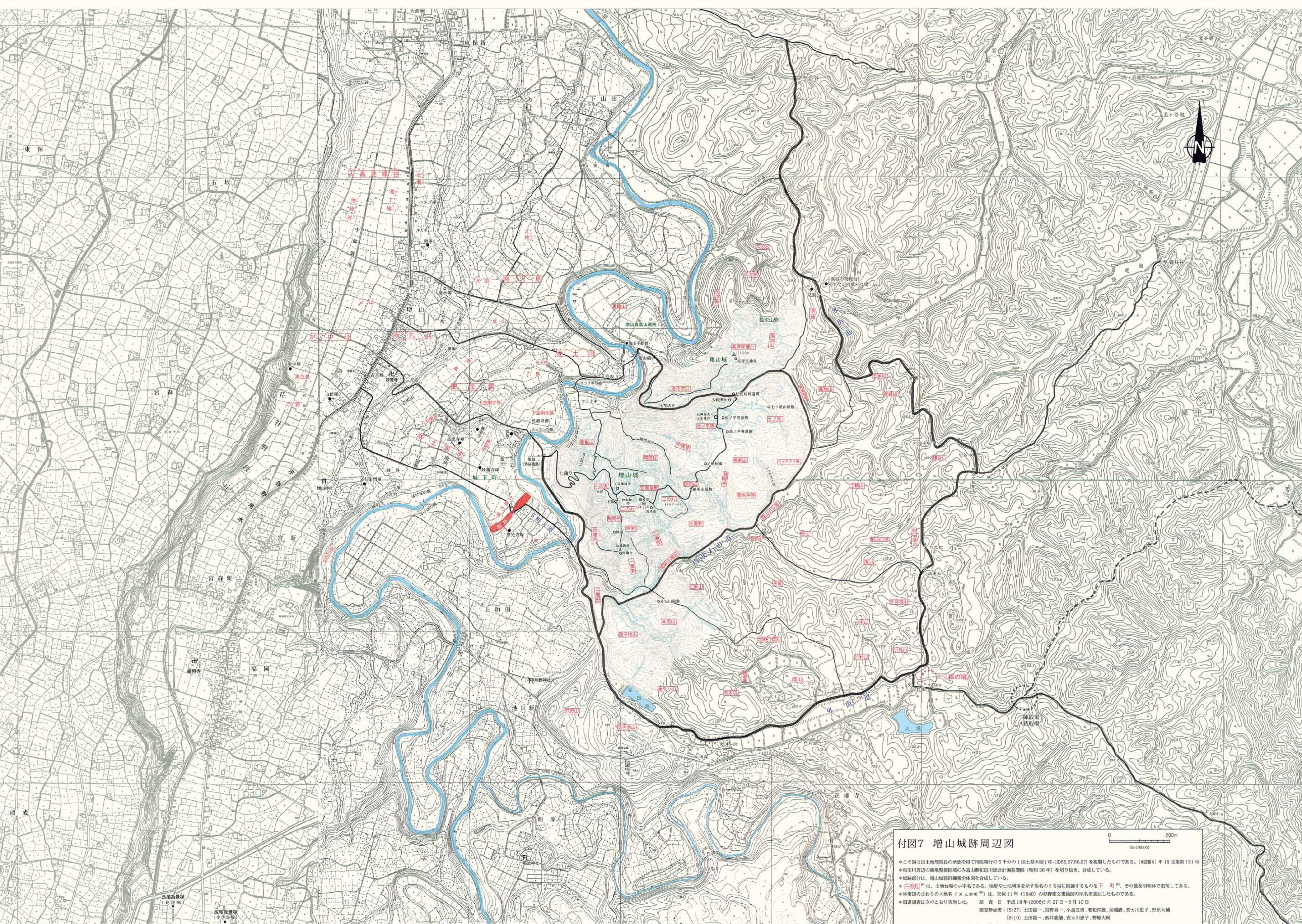
付図6 増山の小地名(山地)

注

- 1) この地図の範囲は増山地内山地である。
和田川右岸の増山城跡を中心とする。
- 2) 土地台帳上の小字名を示したもので、「砾
波志土地家屋現況圖」を下図上に重

※この図は平成元年2月に砺波郷土資料館が作成した図を転載したものである。
(参照 砧波市教育委員会・砺波郷土資料館 1991『富山県指定史跡 増山城跡調査報告書』)





付図7 増山城跡周辺図

*この図は国土地理院長の承認を得て同院発行の5千分の1 國土基本図(VII-HD56,57,66,67)を複製したものである。(承認番号)平18北複第151号
*和田川周辺の圃場整備区域のみ富山県和田川総合計画基礎図(昭和36年)を切り抜き、合成している。

*城跡部分は、増山城郭群縄張全体図を合成している。

* 一の丸⁽¹⁾は、土地台帳の小字名である。地形や土地利用を示す俗名のうち城に関連するものを下町⁽²⁾。その他を明朝体で表現してある。

*外街道のまわりの×地名（×三郡塚^{モロコシ}）は、天保 11 年（1840）の杉野家文書絵図の地名を表記したものである。
*旧道調査は次のとおり実施した。 路 森 日：平成 18 年（2006）5 月 27 日・6 月 10 日

*旧道調査は次のとおり実施した。
踏査日：平成18年(2006)5月27日・6月10日
踏査参加者：[5/27] 土田嘉一、宮野秀一、小島五男、老松邦雄、堀越勝、安川恵子、野原大輔

[6/10] 土田嘉一, 西井龍儀, 安川恵子, 野原大輔